

平成2年に撮影された新仲見世商店街の様子。30年の時を経て、時代に即した姿に変化を遂げようとしています。
プロジェクトのホームページは <https://www.next-shinnaka.net/>



【高峯】 はじめましての人も、顔なじみの人も、今日はどうぞよろしくお願ひします。

【かのん】 副市長とお話できるなんてとても緊張します。大丈夫かな。

【みどり】 私もドキドキしていますが、なんだか楽しみです。よろしくお願ひします。

【津賀】 沼津のまちが好きな人達が集まった座談会ですので、協力していい時間になりました。

【高峯】 ありがとうございます。今日のテーマは「公民連携」についてです。沼津市がまちづくりに新しい公民連携の手法を取り入れて5年が経ちました。

【井草】 つい先日、新仲見世商店街の老朽化したアーケードの撤去が完了しましたが、これは商店街と行政、まちに関わる人たちがタッグを組んで取り組んだプロジェクトで、新しい景色が出来上がりつつあります。

【みどり】 久しぶりに商店街に来ましたが、開放感があって驚きました。

【かのん】 歩いていても気持ちがいいですね。今日は空がきれいなので写真撮っている人もいましたよ。

【井草】 商店街って、通りそのものが公共のスペースになっているんです。新仲見世商店街の通りは「市道」であって、市が管理する道路なんです。市の道路ということは、私たち市民のものなんです。老朽化してしまったアーケードの撤去をひとつの契機として、人が集い、憩える公園のような場所にしたと思っています。

【みどり】 ただアーケードを撤去するだけではなく、心地よい空間をつくるって、その活用方法についてもいろいろ考えているんですね。

【井草】 商店街のお店だけではなく、お客さんや、近くに住んでいる人が一緒にあってどんな景色を作りたいかをイメージしました。その答えの一つが、「人が自然と集まるような、心地よい空間」というコンセプトです。

【津賀】 「NextShinnaka」というホームページもあるんですね。次の世代にどんな景色がバトンタッチされていくのか、とてもワクワクします。

【高峯】 まちの景色を変えるって、とてもエネルギーがいることなんです。一人ではできないことも、得意分野の異なる人達が繋がることによって、大きな可能性を生み出すことができるんですね。

手を取り合いつつ、まちの景色が変わる

本市が進める「公民連携によるまちづくり」をもっとわかりやすく。制度や仕組みだけではなく、まちづくりに込められた想いはどんなところにあるのでしょうか。高峯副市長を案内役に、沼津のまちで活躍する人と沼津で暮らし・学び・成長していく高校生が「公民連携」について語り合いました。

ちょっと、はなそう。

沼津市の 公民連携 による まちづくり



新仲見世商店街会長
井草雅彦さん

沼津市副市長
高峯聡一郎

高校2年生
立松みどりさん

高校2年生
森川かのんさん

デザイン会社代表
津賀由布子さん